第 2 回西日本中学・高校ディベート交流会要項

主催
全国教室ディベート連盟近畿・北陸支部、中国・四国支部、九州支部

目的
ディベートを通じて議論の手法を学び、公平・公正な議論を尊ぶ心を養うこと。
ディベートの実戦経験の場を提供することで、選手のスキル向上を図ること。
オンラインだからこそ可能な、他地区の学校とのディベートを通じて、多くの学びを得ること。

開催期日
練習会：2022 年 11 月 20 日（日）8:30 受付開始（B 部門のみ）
交流会：2022 年 12 月 18 日（日）8:30 受付開始
※全試合オンライン（Zoom）にて実施。

論題
A 部門（高校フォーマット）
「日本は、ベーシックインカムを導入すべきである。是か非か。」
＊ここでいうベーシックインカムとは、すべての国民に対して一律に、最低限度の生活に必要な現金を支給する制度を指す。
＊日本国籍を持つ者全員に月額 7 万円を支給する。財源は社会保障費の削減や増税で補うものとし、公債金や通貨発行益のみで補うことはできない。

B 部門（中学フォーマット）
「日本は中学生以下のスマートフォンなどの使用を禁止すべきである。是か非か」
＊ここでいうスマートフォンなどとは、テザリング機能を使用せず携帯電話回線を直接使用し、インターネットのサイト閲覧や SNS 使用ができる情報端末とする。
＊スマートフォンなどを所有することと、継続的に借用することを禁止する。
＊心身の障害など、やむを得ない事情の場合には使用を認める。

大会ルール
ディベート甲子園ルールに準拠。

スケジュール
11/20 の練習会については、参加チーム数に応じてスケジュールを組み発表する。
12/18 の交流会は以下のスケジュールにて執り行う（予定）

8:30	受付開始	9:00	開会式	9:30	第一試合	11:10	第二試合
13:40	第三試合	15:20	第四試合	17:00	閉会式	17:30	解散

参加条件
1. 近畿・北陸地区、中国・四国地区、九州地区の中学校（あるいは中学校に対応する中等教育学校、特別支援学校の学年）および高等学校（あるいは高等学校に対応する高等専門学校、中等教育学校、特別支援学校の学年）が参加できる。地区の定義はディベート甲子園地区予選と同様。

2. 大会は「A 部門」（高校フォーマット）および「B 部門」（中学フォーマット）の 2 部制で実施する。なお、A 部門に中学生が、B 部門に高校生が出場することを妨げない。
3. 1 チームは 4~6 名で構成する。チームメンバーの所属校は同一でなければならない。なお、中高一貫校の中学 3 年生が、同校の高校生とチームを組んで出場することを妨げない。
4. 同一校からの出場は 2 チームを上限とする。但し、参加校が多く運営に支障をきたすと判断される場合、2 チーム出場の学校にチーム数の削減を依頼する場合がある。
5. 4 名以上が出場するよう努力をしたにもかかわらず、やむをえず 4 名以上の出場ができなかった場合に限り、2 名または 3 名での出場を認めることがある。2 名あるいは 3 名での大会登録を希望するチームは、大会登録時に事情を説明しなければならない。主催者が事情を認めた場合には、大会への出場が認められる。3 名以下で出場する場合の選手の担当パートについては、ディベート甲子園大会要項の規定に従うものとする。
6. B 部門に出場するチームは、11 月 20 日に実施する練習会にも出場することができる。原則として、12 月 18 日の交流会に出場するチームと同じメンバーで出場すること。

申込方法

参加申込フォームに必要事項を入力。受付期間：2022 年 10 月 20 日(木)～11 月 11 日(金)

参加費用

1 チーム 2,000 円　（11/20 の練習会に参加する場合は＋2,000 円）
振込先は大会申込受理後個別に通知する